

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年5月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【増設多核種除去設備(A)吸着塔(5A)のスクリーン破損について】 協力企業作業員が増設多核種除去設備(A)の吸着塔(5A)の吸着材排出作業時にスクリーン※の破損を確認。当該吸着塔の隔離を実施。 今後、スクリーンを修理予定。 当該吸着塔を隔離し、運転を行うことから、浄化処理に影響なし。</p> <p>※スクリーン：吸着塔に充填した吸着材が下流へ流出しないようにするフィルタ</p>	GⅢ	5月14日
2	<p>【ユーティリティ建屋給気ファン(A)(B)電動機の不具合について】 協力企業作業員が設備パトロールにおいて、ユーティリティ建屋の給気ファン(A)および(B)の電動機から異音の発生を確認したことから、電動機の分解点検を行なったところ、以下不具合を確認。 ①給気ファン(A)用電動機 ・電動機分解時に電動機反負荷側の軸受け押さえ部から軸受けが外せないこと、および回転子軸から軸受けを外せないことを確認。 ②給気ファン(B)用電動機 ・電動機固定子に回転子が接触したことによる損傷を確認。</p> <p>ユーティリティ建屋には、当該給気ファン以外に空調装置を設置していること、および当該建屋と連絡するスラッジ貯蔵建屋に給排気ファンがあるため、ユーティリティ建屋内環境への影響はなし。 今後、対応方法を検討。</p>	GⅢ	5月13日
3	<p>【J3雨水回収タンクの水位低下について】 5月17日に、当社社員が、堰内に溜まった雨水を回収したJ3タンクの水位を確認したところ、5月14日～5月17日の期間において水位が低下していることを確認。 調査したところ、以下の4点が判明した。 ・J3雨水回収タンクからの漏えいはないこと ・5月12日にJ3雨水回収タンクの内包水を散水した後、出口弁の全閉操作を実施した際、弁の固着を防ぐ観点から全閉にした後に少し開方向へハンドルを戻す操作を実施していたことより弁が微開状態となっていたこと ・5月14日にJ2雨水回収タンクの内包水を散水した後、J3雨水回収タンクの内包水を散水した時と同様に、出口弁の全閉操作をしたこと ・当該タンクに設置されている出口弁については、開方向へ少しハンドルを戻す操作は不要な仕様だったこと</p> <p>以上のことから、J3雨水回収タンクの水位低下の原因は、 ・5月14日のJ2雨水回収タンクの散水時には、J3雨水回収タンクの出口弁が微開状態だったことより、J3雨水回収タンクの内包水が連結している配管を通り、混入した状態で散水された可能性があることと推定。 ・5月14日のJ2雨水回収タンクの散水終了以降、J2雨水回収タンクの出口弁は、J3雨水回収タンクの出口弁状態と同様に微開状態となっていたことより、J3雨水回収タンクの内包水が連結している配管を通り、J2雨水回収タンクに移行したものと推定。</p> <p>J3雨水回収タンクの内包水を分析した結果、散水基準(告示濃度限界比の和が0.21以下)を満足していることを確認。 また、散水したJ2雨水回収タンクの内包水は、散水基準を満足していることを確認した後、散水しており、散水後の構内放射線モニタ等に有意な変動がないことを確認。</p> <p>暫定処置として、5月19日より、雨水回収タンクから散水する際は、分析を終えて散水する対象のタンクに関わる弁開操作の系統構成完了後、散水開始前に、連結している他の雨水回収タンクについて一定時間水位変動がないことを確認したうえで散水する手順に変更。 今後、恒久対策を検討予定。</p>	GⅢ	5月17日